

資料 3

「4-4 防災・減災対策の強化」に関する委員意見・市の取組状況等

委員からの意見	現在の市の取組状況・考え方	改善すべき点、新たなご提案等
<p>古い木造住宅を耐震化するには費用がかかるためできない家もあると思うが、救済策はないか。</p>	<p>・木造住宅の耐震化については、費用の一部を支援する制度があります。</p>	<p>(審議会にてご意見をお願いします。)</p>
<p>避難訓練は自治会により温度差があり、実際に災害が起きた時どうなるのか不安に思う。</p>	<p>・現状・課題及び取組方針②に記載しました。 ・今後も意識啓発や協力した取り組みを実施します。</p>	
<p>避難行動要支援者のデータ作りが殆ど進んでいない。自治会任せでは無理があると思われ、市から直接対象者家庭にアプローチしないと進まないだろう。草津市などはかなり進んでいるように数年前に聞いた覚えがある。</p>	<p>・現状・課題及び取組方針②に記載しました。 ・独自の制度で体制整備を行っておられる自治会もあり、市の制度に拘らず、有事の際に支援を必要な方が取り残されないような体制整備に自治会や関係機関と共に取り組みます。</p>	
<p>福祉避難所の整備が進んでいない。受け入れる施設側にとっても、どう準備していいのか判っていないのが現状である。(ハード面、ソフト面の両方において)障がい者(とくに自閉スペクトラムの障がい者)が安全に避難でき、かつその場所でパニックに陥らないような所を提供できるということが重要である。</p>	<p>・現状・課題及び取組方針①に記載しました。</p>	
<p>福祉避難所についての具体的な対応は、「福祉計画」に落とし込んでいくことになると思うが、総合計画としては、いつまでにどこまでやるかという具体的な目標を設定しておくことが必要。</p>	<p>・内容がかなり具体的であるため、「いつまでにどこまで」という点についても、福祉が防災の個別計画で位置付けることが適当と考えます。</p>	
<p>大規模災害では、水・食料・エネルギーの供給問題が常にクローズアップされている。電気が来ないと全ての活動が止まってしまうため、長期間の停電とならないようなネットワーク(迂回ネットワークのようなもの)の構築が必要である。</p>	<p>・現状・課題に記載しました。</p>	

委員からの意見	現在の市の取組状況・考え方	改善すべき点、新たなご提案等
<p>都市計画税を災害対策に使うのは望ましい施策である。JR線付近の雨水対策事業がすすむことは鉄道輸送の安定にもつながる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取組方針①に記載しました。 	<p>（審議会にてご意見をお願いします。）</p>
<p>JR横断部についての雨水対策事業については、JR西日本京都支社地域共生室が窓口となり、JR西の関係部署につなぐなど協力を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご協力ありがとうございます。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自助・共助・公助の役割の明文化と市民への周知 ・ 自助：災害時に向けた備蓄品（食品・薬・雑貨など）の準備 ・ 共助：要援護者の日常の見守りと災害時の救助、防火設備などの管理、使えること ・ 公助：避難所の開設、インフラの保全や復旧、情報提供、食料や日用品の準備に期待を持たせないなど ・ 避難所の運営スタッフ（有志のボランティアの募集と研修の実施⇒分野別での活躍に期待。自助・共助・公助・の具体的な内容や手引きの作成など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自助・共助・公助の役割分担等、具体的な対策については、地域防災計画をはじめとした各種防災計画等において、今後検討して参ります。 	